

自然休養林情報

冬季の自然休養林

夏場を感じる日々もあつた秋も足早に通り過ぎ寒風厳しい季節となりました。12月の末には、白谷雲水峡及びヤクスギランドへのアクセス道路も積雪で一時交通止めになったほどです。

この時期の自然休養林の入場者数はめっきり少なくなっています。しかし、昨年の正月三箇日は1日平均300人程度の方が訪れています。

冬季の積雪に覆われた原生林もなかなかのものです。皆さんも一度行かれてみませんか！

昨年の冬季間は、度々積雪で交通止めになっていますので、来訪の折りは、十分に道路情報を確認されて下さい。また道路凍結に十分注意され朝・夕を避けられることをおすすめします。



昨年三月に施工した試験区の調査結果の報告について、①編柵工はほぼ水平に保たれており、土壌沈下は認められなかったが、袖部からの土壌流亡が認められた②編柵工の杭木、粗朶から発芽、広葉の展開が認められた③施工時には小根、細根が全く認められなかったが、発根が認められた④これまでの土壌調査で全く確認できなかったミミズを確認した、ことをスライドを用いて説明しました。

また、全体計画と今年度の施工計画の概要について、縄文杉の周辺(二〇〇m)を、今後三〜四年かけて斜面の下側から順次樹勢回復措置を行うこと、今年度は、三月下旬に、腐葉土中心の混合土で五二㎡の土壌改良、土壌を流亡させないための編柵工及び縄文杉の上側から流出する表流水を分散させるための水切工、展望デッキ



根系発達の兆し現れる

縄文杉樹勢回復措置説明会の開催

保全センターでは十二月十七日、環境庁・鹿児島県等の関係機関に対し、縄文杉の樹勢回復措置に関して十一月に行った試験区の中間調査結果の報告と今後の全体計画及び十一年度施工計画の概要についての説明会を、樹木医を交えて実施しました。

キ下のカナクキノキの倒伏保全のための木柵工を行うことを説明しました。

なお、出席者から、樹勢回復措置についての意見・要望等が出されましたが、当センターは、縄文杉の現状と本措置の必要性について説明し、理解と協力を求めました。

山岳部利用対策協議会 第二回作業部会開催

仮設トイレの設置及び車両規制に関する作業部会が、十二月十五日上屋久町の離島開発総合センターで開催されました。

トイレの問題について、県は平成十三年度を目途に自然環境に配慮した恒久トイレを設置することにしており、それまでの二年間を仮設トイレで対応しようとしているもの

屋久杉の名付け親になりませんか！

本年五月一八日〜二一日に、屋久島と鹿児島市で鹿児島県主催による世界自然遺産会議が開催されますので、九州森林管理局では、これを広く一般にアピールし、多くの人の参加意識の高揚を図る目的の一環として、ヤクスギランドの巨木一本に、一般公募により名前を付けることになりました。

名前を付けていただく屋久杉は、一五〇分コースの歩道沿いに立っている胸高直径三mを越す巨木です。世界自然遺産会議の記念として、後世に残るグッドな名前を期待しています。(詳細は裏面に記載してありますので奮って応募下さい。)

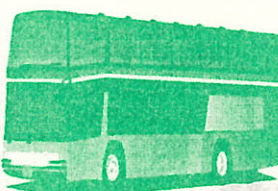


屋久島の植物

マンリヨウ (やぶこうじ科)



本州以南に分布する常緑の小低木で、茎は高さ約百cmくらい。葉は長さ十cmほどの長楕円形で、質は厚く、縁はやや波打っている。夏に白色の小花が下向きに咲き、果実は赤く熟し、下垂して美しい。屋久島では、標高六百mくらいまでの低地の林内によく見かける。果期は一月。



で、その具体的手法を話し合っています。また、山岳部利用対策協議会で問題視している荒川林道終点への登山者の車両乗り入れについて、屋久島警察署もピーク時は一日一二〇台にもものぼる車の集中は異常な状態と危惧

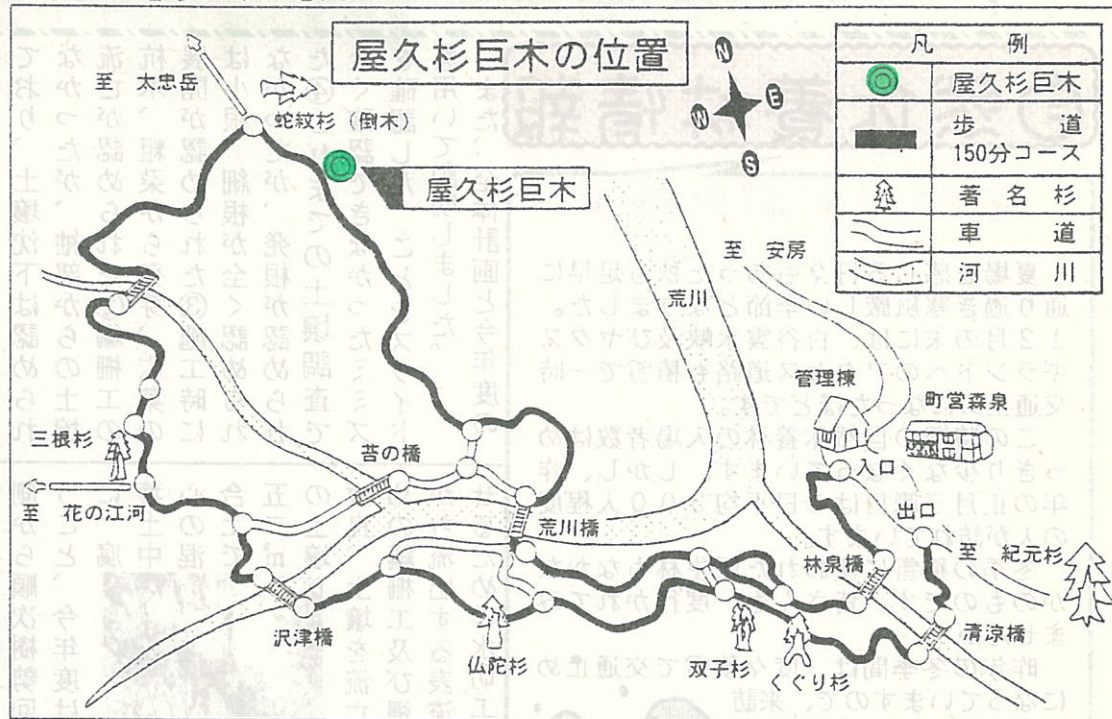
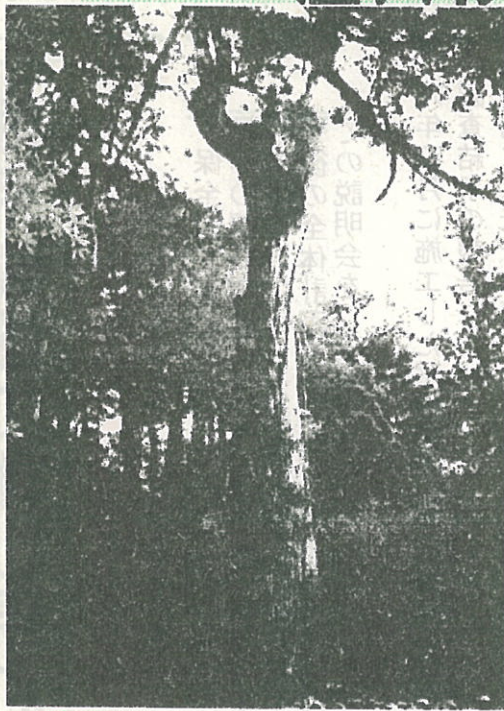
お知らせ

九州林政連絡協議会長賞受賞

十二月十五・十六日、「森林の流域管理システム推進発表大会」が九州森林管理局で開催され、保全センター(川崎専門官)と上屋久町・屋久町との共同発表課題「屋久島世界遺産地域内の山岳トイレ設置について」が、みごと九州林政連絡協議会長賞を受賞しました。

詳しくは、次号裏面に掲載の予定です。

世界自然遺産会議の記念に 屋久杉の名付け親になりませんか。



1. 所在地

自然休養林ヤクスギランド150分コース歩道沿い。
(荒川橋より約520m地点)
標高 1,055m

2. 推定樹齢

1,000年以上

3. 大きさ

樹高 32m
胸高周囲 950cm
胸高直径 302cm

4. 特徴

- (1) 1,000年以上この地に生立し風雪に耐えてきたため、先端は折れ(欠頂木)根元は大人が楽に入れるほどの穴(空洞)が空いている。
- (2) 根元から約4mの高さまで、苔むしており、まるであごひげを生やした長老のようである。
- (3) 平成9年の台風で倒れた蛇紋杉の約80m下の谷に有り、蛇紋杉の後断樹となり得る巨木である。
- (4) 約12mまでは、真っ直ぐに伸び、二股に別れた所には、ナナカマド・アオツリバナ・サクラツツジ・ヤマグルマなどの植物が仲良く着生している。

5. 応募方法

はがき又はFAXで、①住所、②氏名、③年齢、④職業(学年)、⑤電話番号、⑥屋久杉の名前(1名につき1点)⑦名付け理由を明記の上ご応募下さい。

6. 応募先

〒891-4205 鹿児島県熊毛郡上屋久町宮之浦1577-1
屋久島森林環境保全センター「屋久杉の名前」係
FAX 09974(2)0333

7. 記念品等

命名者には、命名証書及び記念品を贈呈。

8. 締切

平成12年3月31日(当日迄必着)

9. 主催

九州森林管理局

10. 選考方法

一次選考：屋久島の各小学校別に6年生が3点を選考。

二次選考：一次選考の中から「屋久杉命名選考委員会」において最終選考し1点を選考。

委員

環境庁屋久島管理官事務所世界自然遺産生態管理官
鹿児島県環境保護課長
上屋久町長
屋久町長
上屋久町立宮浦小学校長
屋久町立八幡小学校長
屋久杉自然館長
屋久島環境文化財団事務局長
屋久島野生生物研究所主宰
山尾三省氏(詩人)
屋久島森林管理署長

11. 発表方法

世界自然遺産会議記念 環境フェスティバル(平成12年5月12日~14日開催)の中で九州森林管理局長が発表。